

日本薬学会九州支部特別講演会のお知らせ
日時：平成29年10月2日（月） 17:30~18:30
演題：味覚におけるCa²⁺ポンプSerca3の機能
演者：コロラド大学 医学部 井口 なお 研究員
場所：長崎国際大学薬学研究棟会議室（1F）

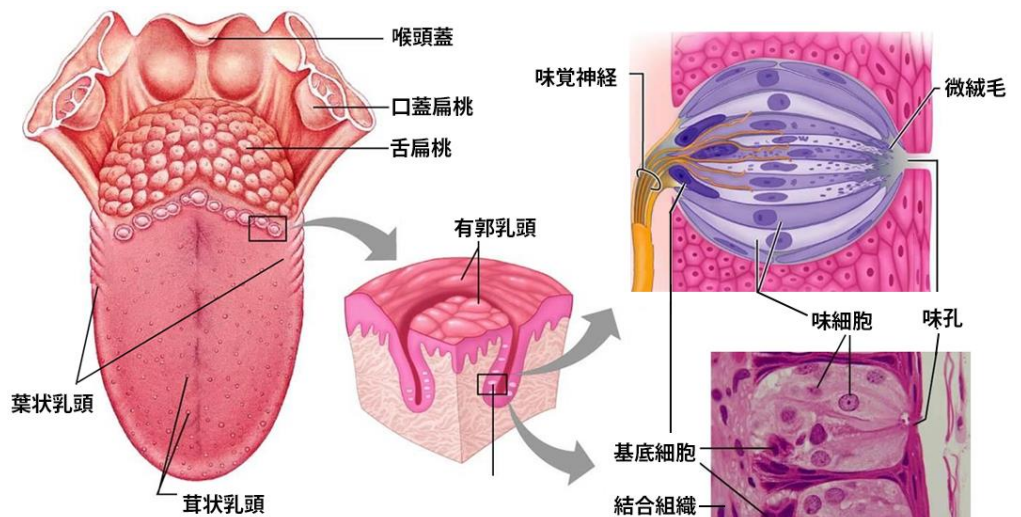
要旨

一般に動物は、食べ物を摂取することで栄養素を食品から得、生命を維持している。味覚には5つの基本味（甘、塩、酸、苦、旨）がある。それぞれの味は生来、体にとって必要、不必要または有害な物質としてのサインであり、味覚は日々のおいしい食事という生活の質だけでなく健康を維持するのに大きな役割を担っている。近年増加傾向



にあると報告されている味覚障害はメタボリックシンドロームや摂食障害、栄養不良などの大きな要因の1つであることから、味覚に関するより深い理解が望まれている。味物質は口腔内にある味蕾にある味覚細胞に発現する受容体により感知され、そのシグナルが味覚神経を介して中枢に伝達され、味として認識される。味細胞が情報を神経に伝えるためには一過的な細胞内のカルシウム(Ca²⁺)上昇が必要である。細胞内Ca²⁺は通常細胞外に比べ1万分の1に保たれており、その濃度調整が細胞機能にとって非常に重要である。本研究では細胞内Ca²⁺ポンプの1つである

Serca3が甘・苦・旨味を知覚する2型味細胞に特異的に発現、特に苦味受容に関わることを明らかにした。苦味は特に小児における服薬遵守を妨げる要因でもあり特異的な阻害法の開発は有用と考えられる。



問い合わせ先：長崎国際大学 分子生物学研究室 田中宏光
〒859-3298 佐世保市ハウステンボス町2825-7 TEL/FAX 0956-20-5651
E-mail:h-tanaka@niu.ac.jp